



# チームしが 県議団

## 会派ニュース

発行責任者 / 清水鉄次  
編集責任者 / 山田 実

2015年3月 第2号

チームしが 県議団 〒520-8577 大津市京町4丁目1-1県庁2階 TEL/077-528-4035 FAX/077-510-6520 MAIL/info@knw.jp info@shiga-net.jp チームしが 県議団 検索

2月定例会議

### 三日月知事の

## 公約実現へ！

「チームしが 県議団」は三日月知事とともに「草の根県政の発展」に取り組みます。



三日月 大造 知事

三日月知事は選挙公約で掲げた「草の根自治の発展」「共生社会・滋賀」「経済と雇用のしが」という3つの理念を具体的な政策に落とし込んだ「滋賀県基本構想案」と、この基本構想実現のための「県庁組織を一部改正する条例案」など、さらに「平成27年度予算案」が提出されました。

いよいよ三日月知事が選挙で県民の皆さんと約束した公約の具体化が始まります。

私たちチームしが 県議団は、三日月知事の公約実現に向け最大限の協力をするとともに、実現に向けてその政策を厳しくチェックしていきます。

**予算総額は5,386億円  
自主財源比率は48%**

来年度予算は2年連続の5,000億円超の予算で、最近10年では最高の予算規模です。歳入のうち、県税などの自主財源は約48%が、歳出では、公債費など使い道が決まっているものが多くあります。三日月知事の独自色を出しつつ嘉田県政の基本方向を継承する予算案になっています。

**「新しい豊かさ」を  
目指す予算**

知事は、私たちが抱える歴史的課題は、「人口減少を見据えてい

かに豊かな滋賀を創造するか」と「新たなエネルギー社会をどのように実現するか」である、と語り、「滋賀県基本構想案」や「滋賀県産業振興ビジョン案」などを通じ、着実にその歩を進めていくと述べました。

**注目したい  
「エネルギー政策の一元化」**

「卒原発」を掲げ、原発に依存しないエネルギー社会の実現に向けてエネルギー政策を一元的に担当する組織設置の条例案が提出されたほか、予算案では基本構想に掲げた7つのテーマで約446億円を計上されました。主な事業としては「全小中学校での35人学級の実施」「学ぶ力の向上」「琵琶湖博物館リニューアル工事」「学習船「うみのこ」建造」「水環境ビジネス推進」「みずかがみや漬物など近江ブランド発信」「スマートーC整備」「湖西線利便性対策」などがあります。

**三日月県政と  
チームしが 県議団**

三日月知事の誕生とともに結成した「チームしが 県議団」は三日月県政を支えるため、厳しい目で県政のチェックと積極的な政策提案を行っていきます。

## 環境学習船「うみのこ」を視察



平成29年春の就航を目指し新しい「うみのこ」建造に向けた予算が組み込まれています。チームしが 県議団は環境学習船「うみのこ」の視察を行いました。この「うみのこ」事業は昭和58年に始まっています。琵琶湖上で県内の全ての小学5年生を

対象に宿泊体験学習を行ってきており、これまで49万人を超える県内の児童が乗船し、昨年度は1万4千人を超える利用者がありました。平成24年には第5回海洋立国推進功労者表彰(内閣総理大臣賞)を受賞しています。

## 代表質問



代表質問にたつ  
西川 勝彦 県議

**Q** 予算案に、いかに「三日月カラー」を盛り込んだか？

**A** 「三日月カラー」というより、より滋賀らしさを「滋賀カラー」として打ち出したいという思いでとりまとめまし

## 三日月知事に提案書を提出

チームしが 県議団は昨年各種団体や市町から来年度予算に向けた聞き取りや意見交換を行ってきました。それをとりまとめ、昨年末に知事に提案書を提出しました。今回知事提案の予算案はこれらの提案が反映されたものになっています。



知事室で三日月知事とともに

**Q** 「学ぶ力向上 滋賀ブランド」事業を「学力」ではなく「学ぶ力」と銘打った理由はどこにあるのか？

**A** 教育は「夢と生きる力」を育むものです。子ども達が生きる力を育むためには、人と人との関わりの中で、「学ぶ力」を高めることが必要であり、これは、いわゆるテストの正答率などであらわされる「学力」の根っこになるものであると考えています。

た。また、「みんなでやろう」、「一緒にやろう」という視点、「行政だけでなく県民参加で作りあげる」という視点も大切にしながら、施策を構築することに心を砕きました。